

令和6年4月号

うつみ進学塾

東雲(しののめ)

vol.61(302)

4月・・・みなさん、新入学そして進級おめでとうございます。塾も新しい年度を迎えて心機一転、また新しい1年のスタートです。新学年・新学期を迎えるにあたり、どんな目標・夢をもっていますか？新たに受験生となった人たちは、高校や大学への入学が今年度の一番の目標となるのでしょうか。受験が終わった人、私の番はもう少し先だな・・・と、言う人も今年一年間の目標をしっかりと持って、何事にも取り組んでくれたら良いと思います。



思えば、この場所で塾を開いて以来、「夢を持って、その夢に向かって頑張りたい！」「まだ、夢と言えるものは無いけれど、自分の夢を探したい！」そんな気持ちを持っている子ども達を応援したいと考えて塾をやってきました。そんな中、私たちはコロナ禍と言われた社会を体験して、以前は予想も出来なかった人と人のつながり方を経験し、以前と変わってきた子ども達の意識を実感せざるを得ないような状況にも直面してきました。「目標を持って」と言われても、なかなか目標を持つことが出来ない子ども達が多くいるのが現状です。「目標を持ちましょう」と言われて、「何か、冷たい感じがする・・・」と



か感じた人は、何年か先の長い目標を意識するのではなく、まずは朝早く起きるなどといった目先の目標を意識して毎日の生活を送ることを意識して見るのはどうでしょうか。春休み中にこの文章を読んでいる人は実践してみると良いかもしれませんよ。そんなところから、学校が始まって、ただ漠然と課題をこなすだけの毎日から、目標をこなす楽しみを実感できる充実した一年を過ごせるようになるかもしれませんよ。将来の目標のある人はそれに向かって、「まだ無いなー」と言う人はまずは目先の目標を作ること、そうやって毎日を少しでもハリのあるものに出来れば良いと思います。

前の話にも少しつながると思いますが、人から「勉強しろ！」「勉強なさい！」と言われて、仕方なく机に向かったものの、「何から始めればいいのかろう？」と、困ってしまった経験はありませんか？『勉強する』過程には、『教わる⇒考える⇒身につける』の3つの段階に分けることができます。例えば、学校での黒板を使った授業は『教わる』の段階です。これがもし自分の大好きなことだったら、一気に『覚えた～身につける』まで行くことが出来るでしょう。みんなもきっと思い当たることがある



ハズ。自分の好きなことは段階を意識しなくても、知らないうちに『身についた』と、なるわけです。と言う事は、塾では勉強を自分の好きなものにするべくお手伝いが出来れば良いわけです。しかし、いつの頃からか分かりませんが、「勉強は好きなものではない…」と言うのが定説になってしまって、異論がないと言う人がほぼ 100 パーセントでしょう。実際、教えている教師たちも(私を含めて)面と向かって、「勉強好きですか？」と聞かれて、「はい」とハッキリ答えることが出来る人はわずかでしょう。でも勉強に対して成功体験を持っている人は、そうでない人よりは勉強に対して前向きに挑めると私は考えています。成功することによって、「他の人より出来るかもしれない…」と意識することは大切なこと。みんなが少しでもそんな意識を持てるように、持っている人はより強くそんな気持ちになれるようになって欲しいです。そうして『教わる』から『身につける』までの時間が少しでも短くなるように、お手伝いしていきたいと考えています。特に塾では一人一人に説明していくので、他の人と一律に説明を受けるよりは『考える』時間が短くなるはず。すると必要になるのは、『考えて身につける』こと。そのためには反復練習が大切です。数をこなして、自分の出来る問題を増やしていけるように実践を増やしていきましょう。決して面倒がらずに、どんどん問題に挑戦していてもらいたいです。



さあ、何はともあれ新学期。新しい生活のスタートに塾に勉強しに来る曜日や回数の変更がある人は、分かり次第連絡ください。

最後に一つ。新学期にむけて、塾ではまだまだ新入塾生を募集しています。お友達やお知り合いの人を連れてきてくれた人には、千円分の図書カードをお渡ししますキャンペーン(笑)は続いています。気になる人や心当たりのある人がいましたら、是非塾に誘ってあげてくださいね。

さあ、何はともあれ新学期。新しい生活のスタートに塾に勉強しに来る曜日や回数の変更がある人は、分かり次第連絡ください。

最後に一つ。新学期にむけて、塾ではまだまだ新入塾生を募集しています。お友達やお知り合いの人を連れてきてくれた人には、千円分の図書カードをお渡ししますキャンペーン(笑)は続いています。気になる人や心当たりのある人がいましたら、是非塾に誘ってあげてくださいね。

